

# 交通系 FP（ファイナンシャルプランナー）と言う提案

横浜に LRT を走らせる会、柴田 智洋

<https://note.com/brothert/m/m808cc1c6f6ed> 、brothert354@hotmail.com

## はじめに

「クルマの必要性を見直そう、車を買わない！」と説く本が 140 万部ものベストセラーになったと聞くと驚かれる方は多いのではないのでしょうか？この言葉は 670 万もの登録者数を抱える投資系 Youtuber 両氏の著作「お金の大学」からのもので公称 142 万部販売されています。近所の本屋のランキングで見かけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

また 2021 年にネット放送局 Abema で放映された若者のクルマ離れに関する討論番組でクルマ不要派の若者の代表として現れたのは 40 万人の登録者数を抱える節約系 Youtuber のくらま氏でした。くらま氏も著書で「車は「所有しない」がベストです。」と説いています。

言うなれば今 600 万人以上いる「家計を節約したい」と考える人たちの間で「クルマを買わなければお金を貯められる」と共有されています。これは脱クルマを考える上で大きなことではないのでしょうか。

## 1. NISA、親ガチャ、住宅ローン、節約を考える人が増えた理由

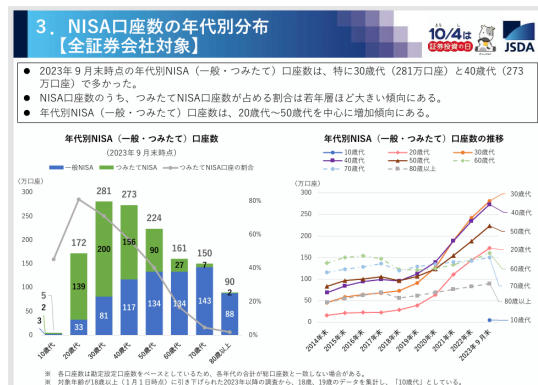


図1：NISA 口座数の年代別分布  
(日本証券業協会 HP より)

両氏、くらま氏の様な節約・投資系の Youtuber を生み出した背景、言うなれば家計を節約しようとする人が増えたのはなぜかを見ていきます。図1は2023年9月時点での日本証券業協会による年代別のNISA口座数の分布になります。若い世代ほど積極的に口座を開設し、投資を行っているのが見て取れます。2014年の制度開始、特に2018年の積み立てNISA開始以降NISA口座開設数が増加しています。言うなれば金融投資の活発化が節約を促進したと言えます。

	高校卒業者	大学短大進学者	進学率
2006	1,172,087	578,525	49.4%
2010	1,071,422	582,272	54.3%
2015	1,089,521	583,961	53.6%
2020	1,065,064	582,915	54.7%
2025	955,335	586,639	61.4%

表1：大学進学率推移(学校基本調査より作成)

また大学進学率を見るとここ20年で10%以上向上しているのが見て取れます。私立中学校、高校への進学比率も上がっています。

近年私立大学を中心に所謂指定校推薦など特定の高校に行かないと受験機会の与えられない入試やAO入試など学校・塾などのサポートの多寡が結果を左右する複雑な入試制度が拡充されています。

親ガチャという言葉が流行りましたが、親がどれだけ子供の教育投資出来たかで子供の進路が左右される部分が大きくなったことで子供への投資の活発化が節約を促進しました。

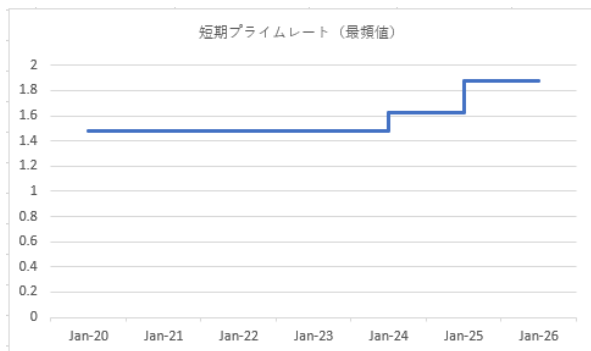


図2：短期プライムレート（最頻値）推移

@日本銀行 HP より作成

また今後住宅ローンも注目されます。2024年9月のゼロ金利解除以降政策金利に合わせて住宅ローン金利も上昇してきています。その為金利上昇分増加した月々の住宅ローン返済が節約を促進していくと考えられます。

また住宅ローンに関しては所謂ペアローンが増加しているのも見逃せないです。かつては子供の送迎の為両親のうち片方がパートや時短勤務をするケースが多かったですが、これからは両親ともにフルタイム勤務にせざるを得ないケースが増える事で送迎の問題がこれまで以上に重要になってくると考えられます。

## 2. 節約と公共交通をどうつなぐか



クルマを1台減らして豊かな生活を手に入れよう ...

家庭で1台クルマを減らすと50〜100万円ほど大きな節約となります。クルマを減らして豊かな生活を手に入れるという観点で情報提供していきます。

設定

今後も増えてくる「家計を節約したい」かつ「家計を節約するためには車を持たないのが有効」という事を知った人たちと「実際どうすれば車を手放せるか」という知識・知恵を結び付ける努力が特に「クルマ社会である地方」だが「一定水準の公共交通のある」地方都市で必要ではないかと思います。

私自身群馬県高崎市・前橋市で单身ながら合計10年弱クルマなしで生活した経験があります。その中で得たノウハウなどを2024年4月

より「クルマを1台減らして豊かな生活を手に入れよう」というwebマガジンで発信を始めました。

主な内容としては以下になります。

- ・クルマを1台減らす方法
- ・クルマ通勤からの脱却方法
- ・子供の送迎をクルマ以外にする方法
- ・クルマなしで楽しむ方法
- ・公共交通をお得に利用する方法

意識しているのは生活を改善して豊かにする事が目的であり、公共交通等のクルマ以外の交通は「クルマを減らしても豊かに生活する」為の手段と言う事です。

例えば「公共交通でのアクセスがしやすいオンなどのSCへ映画を見に行く」と言った公共交通で行きやすい場所での楽しみ方だったり、近年増えてきたポイントなど「お得」な情報も重視しています。

## おわりに

家計の世界ではFP（ファイナンシャルプランナー）と言う資格があり、彼らは家計に関わる様々な知識を備え、保険や住宅購入等大きく長期的な支出の際に相談できる相手となっています。

交通の世界でもクルマ以外の交通手段の活用を考えた際に様々な知識を備え、生活をよくするスタンスで相談に乗ってくれる言うなれば交通系FPが必要な時代になってきているのではと考えます。

## 参考文献<必要により>

お金の大学 改訂版 両@リベ大学長 朝日新聞出版

すごい貯蓄 くらま KADOKAWA